

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

市町名	大崎上島町
所属名	健康福祉課
担当者名	池田美果
連絡先(電話)	0846-62-0330

タイトル	基本施策 1－（３） 健康支援の推進
区分(あてはまるものにチェックを)	☒ 自立支援、介護予防、重度化防止 ☐ 介護給付費等適正化

現状と課題	
高齢化は進んでも、「自立支援・重度化予防」の取組の継続により、本町の高齢者の就労は増加し要介護者の減少、及び要介護状態は軽度化の傾向にある。 脳血管疾患、虚血性心疾患等の重篤化した生活習慣病の罹患者も減少している。しかし、65歳未満の脳血管疾患、虚血性心疾患の発症者は減少していない。 引き続き、生活習慣病の重症化予防・発症予防への取り組みが必要である。 また、慢性腎臓病が急激に増加しており、医療機関と連携し透析移行を防ぐ対策が必要である。 高血圧・脂質異常症は県平均より高い状態が継続し、自殺者も継続している。 口腔フレイルへの取り組みは令和 6 年度に開始して 2 年経過したが、75 歳以上で口腔フレイルの疑われる者の割合は増加傾向にある。 新型コロナやインフルエンザの感染者も引き続き発生している。	
第 9 期（令和 7 年度）における具体的な取組	
【生活習慣病予防】 特定健診・後期高齢者健診の結果に対する早期受診勧奨及び受診確認と再勧奨の徹底、エンジョイ健康セミナー、各種健診（早期の健康診査・医療保険未加入者健診、骨粗鬆症検診、肝炎検診）、糖尿病性腎症重症化予防事業、減塩普及キャンペーン、筋骨測定会、家庭血圧測定推進事業、 【がん対策】 肺がん（集団のみ）・胃がん（集団はバリウム・個別は内視鏡）・大腸がん（集団・個別）・乳がん（集団・個別）・子宮頸がん検診（集団・個別）、要精密検査者の訪問、受診勧奨・再勧奨 【心の健康対策・自殺予防】 こころの健康相談、ゲートキーパー養成研修、アルコール関連問題研修、自殺対策庁内・関係機関会議、断酒会 【食育の推進】 減塩普及推進事業、食育推進事業、第 3 期食育計画策定 【口腔ケアの推進】 80 歳の歯科健診、8020 表彰、85 歳の歯科健診の開始、口腔フレイル予防講座、ポピュレーションアプローチでの歯科アセスメントの導入、ポピュレーションアプローチでの歯科衛生士による口腔フレイル予防のミニ講座の実施、 在宅療養者の訪問歯科健診・口腔ケア事業 【感染症対策】 町広報、ホームページ等での啓発、手指消毒薬の備蓄・補充等の継続 【その他】 第 3 期大崎上島町健康増進計画の策定	

目標（事業内容、指標等）

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
生活習慣病対策	健診有所見者受診勧奨実施率	1 0 0 %	1 0 0 %	1 0 0 %
	エンジョイセミナー参加者実人数	8 人	9 人	1 0 人
がん対策	がん検診要精検者受診勧奨率	1 0 0 %	1 0 0 %	1 0 0 %
	がん検診要精検未受診者数	7 人	4 人	0 人
心の健康・ 自殺対策	こころの健康相談 相談件数	1 1 件	1 2 件	1 3 件
	自殺者数 (R6 度は R4 の統計)	1 人	0 人	0 人
食育の推進	食育地区講習会参加者数	4 5 1 人	4 5 5 人	4 6 0 人
口腔ケア推進	口腔フレイル歯科健診受診率	1 8 . 8 %	1 9 . 3 %	2 0 . 0 %
	在宅療養者訪問歯科健診・口腔ケア件数	7 件	8 件	9 件
感染症対策	高齢者インフルエンザ予防接種率	6 5 . 1 %	6 7 %	6 8 %
	普及啓発広報掲載回数	2 回	2 回	3 回

目標の評価方法

年度末の実績、自殺者数：広島県人口動態統計

口腔フレイル健診受診率:

(後期高齢資料広域連合実施分+大崎上島町の口腔フレイル健診)

高齢者インフルエンザ予防接種率（R6 年度中の接種者数/R6.3.31 時点 65 歳人口）

取組と目標に対する自己評価シート(自己評価結果)

(実績評価)

实施内容

		令和 7 年度	
生活習慣病対策	健診有所見者受診勧奨実施率	1 0 0 %	8 6 人
	エンジョイセミナー参加者実人数	5 人	1 4 回コース 1 クール
がん対策	がん検診要精検者受診勧奨率	1 0 0 %	4 8 人訪問
	がん検診要精検未受診者数	7 人	肺がん 1 人、大腸 6 人
心の健康・ 自殺対策	こころの健康相談 相談件数	1 1 件	毎月 1 回、精神科医・精神保健福祉士他
	自殺者数（R7 度は R5 の統計）	3 人	
食育の推進	食育地区講習会参加者数	5 1 2 人	食生活改善推進員会協働
口腔ケア推進	口腔フレイル歯科健診受診率	3 0 . 1 %	80 歳口腔フレイル健診・85 歳対象追加
	在宅療養者訪問歯科健診・口腔ケア件数	7 件	希望者 8 人
感染症対策	高齢者インフルエンザ予防接種率	7 5 . 7 %	2, 308 人接種、無料
	普及啓発広報掲載回数	2 回	感染予防、結核予防

自己評価結果 【○】←(◎, ○, △, ×のいずれか※を記載してください。)

概ね計画どおりできた。

課題と対応策

生活習慣病重症化予防は、課題となっていた受診勧奨後の受診の確認と再勧奨を令和7年度から開始した。受診の確認レセプトでするため受診から2か月程度遅れてからの確認になるためタイムリーな取り組みに課題が残る。

がん対策は、引き続き要精検未受診者の確実な受診に向けた勧奨を行うと共に、医療機関への適正な精密検査方法を実施について依頼と確認を行う。

心の健康については自殺者0に向けた相談の充実。食育対策は減塩、適正カロリーのさらなる普及啓発を図る。口腔フレイルについては1 - (2)に記載。感染症は持続的な感染防止対策の普及啓発を図る。